

23 人と公共交通優先の「歩くまち・京都」の実現に向けた支援の充実

全ての市民や観光客の皆様の円滑な移動を実現し、地域経済の活性化や地域活力の向上を図り、交通政策基本法の基本理念を具現化することにつながる「歩くまち・京都」総合交通戦略をより一層推進していくため、次のとおり求めます。

提案・要望事項

- (1) 交通アクセス向上に資するJR嵯峨野線 京都・丹波口間新駅設置への財政支援
- (2) 世界トップレベルの自転車共存都市・京都の実現に向けた取組に対する財政支援

交通アクセス向上に資するJR新駅設置への財政支援

現状・課題

京都駅西部エリアは、梅小路公園等、多彩な地域資源が集積しており、京都の成長戦略を推進するうえで核となる地域である。本エリアの更なる活性化を図るため、中心部にJR新駅を設置することとしているが、平成31年春開業に向け、確実に事業執行するための財源の確保が必要である。

要望

平成31年春にJR新駅を開業するため、最終年度となる平成30年度は、「都市・地域交通戦略推進事業」(交付金メニュー)による十分な財政支援が必要！

効果

- ① 梅小路公園等の核となる施設へのアクセスが向上することをいかして、新たな人の流れをつくり、地域の活性化を図る。
- ② 新駅を軸とし、既存の公共交通を再編・強化し、公共交通の利便性向上や利用促進を図る。
- ③ 車利用から公共交通への更なる転換を図る。



世界トップレベルの自転車共存都市・京都の実現に向けた取組に対する財政支援

現状・課題

運転ルール違反, マナーの欠如, 歩行者等との交通事故の増加
⇒歩行者と自転車利用者が安全で快適に通行できる環境整備が必要

要望

- ①重点地区における自転車走行環境の整備のための財源の確保
- ②重点地区外における自転車走行環境の整備のための交通安全対策 特別交付金の法定外路面表示への適用範囲の拡大

効果

「歩くまち・京都」にふさわしい生活道路も含めた面的整備を推進し、歩行者と自転車利用者の安全で快適な通行環境を実現！



＜自転車走行空間の整備例＞



都心部地区などの重点地区及び重点地区外を合わせた「面的なネットワーク整備」を推進